



# 小城市立歴史資料館 \* 中林梧竹記念館だより

## 第1回小城の歴史講座を開催します。 「肥前八勇士と秋田・ニツ井」

戊辰戦争の際、秋田・ニツ井で戦死した小城藩士香田市助、軍夫儀平、弥平を含む肥前八勇士の慰霊祭を主催される「ニツ井の歴史に学ぶ会」の丸岡一直さんをお招きし、秋田・ニツ井と佐賀・小城の関わりを学びます。

- ◆期間 8月31日(土) 14時から
- ◆場所 ゆめぷらっと小城  
2階 天山ホール
- ◆内容 1部 講演 14時～15時  
演題 「肥前八勇士と秋田・ニツ井」  
講師 ニツ井の歴史に学ぶ会  
丸岡一直さん
- 2部 対談 15時15分～15時40分  
ニツ井の歴史に学ぶ会 丸岡一直さん  
小城市長 江里口秀次
- ◆入場料 無料(先着順)

## 歴史資料館テーマ展「小城藩の茶道」を開催中です

7月27日(土)から第43回全国高等学校総合文化祭(2019さが総文)が開催され、小城市では茶道の部門大会が行われます。

江戸時代、小城藩の茶道は有楽流(千利休の弟子・織田有楽斎の流派)に属しました。今回のテーマ展では、小城藩と茶道にまつわる収蔵資料を紹介しています。

- ◆期間 7月20日(土)～10月13日(日)
- ◆場所 歴史資料館  
常設展示室
- ◆観覧料 無料



▲小城公園内にある茶釜塚  
大正9(1920)年に有楽流の門弟によって建立された

## おぎの歴史探検隊

### 異説・青木繁の《朝日》〈その1〉

### 小城郷土史研究会

知る人ぞ知る日本画壇の巨匠・青木繁は、今を去ること108年前の明治44年3月福岡市内の病院で亡くなっているが、小城市での関わりと傑作《朝日》について私論ではあるが述べてみたい。

生い立ちを述べるならば、福岡県久留米市荘島町に生まれ、明治28(1895)年久留米中学明善校に入学し、同窓の坂本繁二郎とともに森三美の画塾で洋画を学んだ。

しかし、明治32(1899)年明善校を中退、上京して小山正太郎の不同舎に入門する。翌年、東京美術学校西洋画科に入学、明治36(1903)年第8回白馬会に《黄泉比良坂》などの神話画稿を出品し第1回白馬賞を受賞した。

またこの頃より詩人・蒲原有明との交友が深まる。

明治40(1907)年、東京府勸業博覧会に《わだつみのいろこの宮》を出品するが三等賞末席にとどまり、以降、失望から放浪の道を歩む。

同年父危篤の知らせを受け帰郷するが、負債をめぐる家族との衝突から出奔、放浪生活が始まる。

明治41(1908)年、恩師である森三美を頼り佐賀を訪れ、のち小城町に滞在するが肺結核を発病し唐津に療養する。

この時《朝日》などを制作するが病状が悪化し、明治44(1911)年福岡市の松浦病院にて失意のうちに生涯を閉じた。(続)



▲歌碑 祇園川河畔に建つ

◆開館時間 9時～17時 ◆休館日 毎週月曜日・祝日 小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財 検索  
【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132